

川崎重工業株式会社

NO.2024065

2024 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 川崎重工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 橋本 康彦
コ ー ド 番 号 7012 東証プライム・名証プレミア
問合せ先責任者 執行役員
コーポレートコミュニケーション総括部長
鳥居 敬
【東京】TEL 03-3435-2130
【神戸】TEL 078-371-9531

子会社（カワサキモータース株式会社）の事業強化に向けた資本業務提携に関するお知らせ

当社は、2024 年 11 月 8 日開催の取締役会において、以下のとおり当社が保有する当社連結子会社カワサキモータース株式会社（以下、カワサキモータース）の発行済株式の 20%をカワサキモータースに売却すること、およびカワサキモータースが伊藤忠商事株式会社（以下、伊藤忠商事）に対して第三者割当を行い、発行済株式の 20%を割り当てることを決議し、同日付で各当事会社間において資本業務提携に関する契約を締結しましたので、お知らせします。

1. 資本業務提携の目的

当社は、2020 年度に制定した「グループビジョン 2030」の実現に向けて、社会課題に対するソリューションの創出とそのための体制づくり、成長シナリオの構築に取り組んで参りました。その一環として、カワサキモータースは売上高 1 兆円を目標に様々な経営施策を実行する中、3 社は各社のリソースを活用した協業の可能性について協議を重ね、伊藤忠商事をパワースポーツ&エンジン事業の中長期的なパートナーとして、人材交流を積極的に進め、成長戦略の実現を共同で行っていくことを確認し、本業務提携の合意に至りました。

本提携により、主力市場である世界最大規模の北米市場において、ユーザー向けファイナンスを直接提供できる体制を整え、市場状況の変化に対する耐性を高め、販売基盤をより強固なものとすることで、カワサキモータースの成長戦略をさらに加速、強化します。

なお、伊藤忠商事は 1960 年代以降の二輪車事業の海外進出の初期段階において、輸出業務・欧州販売代理店業務で協業関係にあり、カワサキモータースの事業について深い理解を有していることに加え、より消費者に近い川下ビジネスを起点に成長投資ならびに事業拡大を進めており、ユー

ザー向けファイナンス事業を展開するなど金融会社の運営に豊富な知見・ノウハウを有しております。

また、今回調達した資金をグループビジョン 2030 で定めた、水素事業をはじめとする3つの注カフィールドへの投資にも活用するため、本提携は当社グループ全体にとっても大きな意義があると考えております。今回の外部資本の活用により成長分野への投資を加速させ、当社グループの持続的な成長をより早期に実現することを目指すとともに、当社グループの財務体質の改善、資産・資本効率の改善に充当し、適切なバランスシート構成を実現して参ります。

2. 資本業務提携の内容

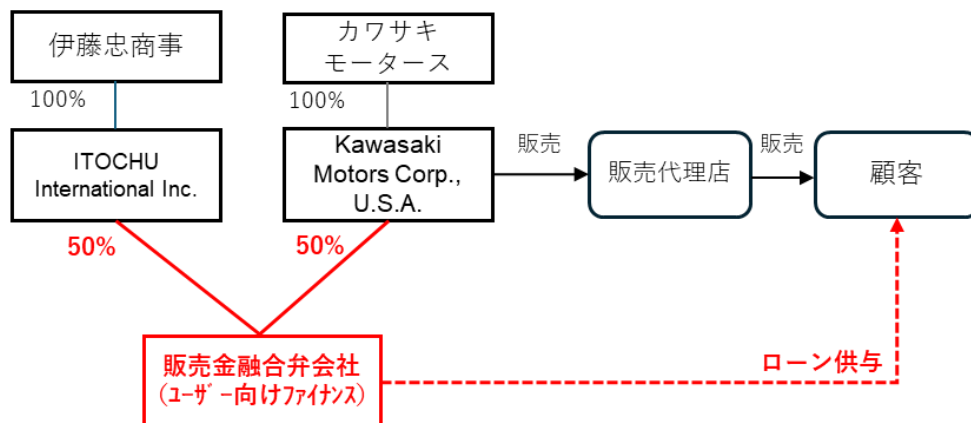
(1) ユーザー向けファイナンス事業を目的とした合併会社の設立

まずは米国市場向けにユーザー向けファイナンス事業を目的とした合併会社を設立します。

米国市場は、パワースポーツ商品の購入にあたり長期の分割払いに対する顧客ニーズが高いことから、販売代理店および顧客に対する迅速な審査プロセスや、競争力のあるファイナンスメニューを提供することが求められます。

魅力的な新規モデル導入と並行して、マーケットインの視点で本合併会社による質の高い金融サービスの提供を行うことにより、カワサキモーターズの製品・サービスの更なる拡販を推進し、米国でのバリューチェーンを延伸することで、カワサキモーターズの売上の過半を占める米国市場において、顧客基盤の抜本的な強化を行い、競争優位性を確立します。

ユーザー向けファイナンス事業のスキームは以下の通りです。



(2) グローバル販売協力・物流効率化

両社の人材交流や伊藤忠商事が有するグローバル拠点の活用により、パワースポーツ商品のグローバルな拡販を推進していきます。

伊藤忠商事が自動車ビジネスを通じて深い知見を持つ CIS・中近東・アフリカ・中南米等の新興市場を筆頭に、カワサキモーターズの市場開拓が進んでいない国について、更なる需要取り込みを企画しております。

また、同社グループの有する陸海送物流ネットワークを活用した物流の効率化を図ります。

(3) 資本提携の内容

①上記の通り、広範な業務提携を行うにあたり、その効果を最大限に実現するべく、先述した合併会社の設立に加え、次の通りカワサキモータースの株式の一部を伊藤忠商事が保有する資本提携を行います。

(i) カワサキモータースは、当社が保有するカワサキモータース株式を自己株式取得により取得するため、当社はカワサキモータースに対して普通株式 4 千株を譲渡いたします（以下「本株式譲渡」といいます。）。

(ii) また、カワサキモータースは伊藤忠商事を引受人とする普通株式 4 千株の第三者割当を実施いたします（以下「本第三者割当」といいます。）。

(iii) 上記 (i) および上記 (ii) の結果、カワサキモータースの議決権所有割合は、当社が 80%、伊藤忠商事が 20%となる予定です。

②本株式譲渡の概要

(1) 本株式譲渡前の当社所有株式数	20,000 株（議決権所有割合 100%）
(2) 譲渡株式数	4,000 株
(3) 譲渡価額	800 億円
(4) 譲渡日	2025 年 4 月 1 日（予定）

③本第三者割当の概要

(1) 割当株式数	4,000 株
(2) 発行総額	800 億円
(3) 割当後発行株式数	20,000 株
(4) 払込日	2025 年 4 月 1 日（予定）
(5) 本株式譲渡および本第三者割当後の当社所有株式数	16,000 株（議決権所有割合 80%）

3. 当該子会社の概要

(1) 名称	カワサキモータース株式会社		
(2) 所在地	兵庫県明石市川崎町 1 番 1 号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長執行役員 伊藤 浩		
(4) 事業内容	モーターサイクル&エンジン事業		
(5) 資本金	1,000 百万円		
(6) 設立年月日	2021 年 2 月 12 日		
(7) 大株主および持株比率	川崎重工業株式会社（100%）		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社の 100%出資の連結子会社であります。	
	人的関係	川崎重工の執行役員 4 名がカワサキモータースの取	

		締役および監査役他を兼務しております。		
	取 引 関 係	－		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績および財政状態				
決算期	2022 年 3 月期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期	
純 資 産	58,675 百万円	107,707 百万円	125,846 百万円	
総 資 産	176,173 百万円	235,526 百万円	269,837 百万円	
1 株 当 た り 純 資 産	2,933,750.18 円	5,385,373.31 円	6,292,343.88 円	
売 上 高	148,355 百万円	364,175 百万円	363,944 百万円	
営 業 利 益	8,198 百万円	47,533 百万円	40,902 百万円	
経 常 利 益	10,443 百万円	69,653 百万円	39,704 百万円	
当 期 純 利 益	7,200 百万円	56,093 百万円	33,979 百万円	
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	714,802.34 円	2,804,668.52 円	1,698,991.92 円	
1 株 当 た り 配 当 金	360,010.19 円	0 円	872,900.00 円	

4. 資本業務提携相手先の概要

(1)	名	称	伊藤忠商事株式会社			
(2)	所	在	地	大阪市北区梅田 3 丁目 1 番 3 号		
(3)	代表者の役職・氏名		代表取締役社長 C O O 石井 敬太			
(4)	事	業	内	容	総合商社	
(5)	資	本	金	253,448 百万円（2024 年 3 月期現在）		
(6)	設	立	年	月	日	1949 年 12 月 1 日
(7)	大株主および 持株比率	日本マスタートラスト信託銀行(株)（信託口）			16.09%	
		BNYM AS AGT／CLTS 10 PERCENT			9.04%	
		(株)日本カストディ銀行（信託口）			5.30%	
		CP WORLDWIDE INVESTMENT COMPANY LIMITED			3.91%	
		日本生命保険相互会社			2.36%	
		(株)みずほ銀行			2.17%	
		SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT			1.91%	
		STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234			1.75%	
		朝日生命保険相互会社			1.62%	
		JP MORGAN CHASEBANK 385781			1.30%	
(2024 年 3 月現在)						
(8)	上場会社と当該会社 との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません			
		人 的 関 係	該当事項はありません			
		取 引 関 係	当社および当社の関連会社は、当該会社および当該			

		会社の関連会社との間で資材購入やリース等の取引があります		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績および連結財政状態				
決算期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	
株主資本	4,199,325百万円	4,823,259百万円	5,426,962百万円	
総資産	12,153,658百万円	13,115,400百万円	14,489,701百万円	
1株当たり株主資本	2,857.50円	3,314.35円	3,771.77円	
収益	12,293,348百万円	13,945,633百万円	14,029,910百万円	
営業利益	582,522百万円	701,913百万円	702,900百万円	
税引前利益	1,150,029百万円	1,106,861百万円	1,095,707百万円	
当社株主に帰属する当期純利益	820,269百万円	800,519百万円	801,770百万円	
基本的1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	552.86円	546.10円	553.00円	
1株当たり配当金	110円	140円	160円	

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2024年11月8日
(2) 契約締結日	2024年11月8日
(3) 効力発生日	2025年4月1日(予定)

6. 今後の見通し

本提携にかかる当期業績に対する影響はございませんが、本資本業務提携に基づき事業展開を実施することにより、中長期的には当社ならびにカワサキモータースの業績向上に資するものと考えております。なお、株式譲渡の実行による影響については、2026年3月期の当社個別決算において、特別利益として約700億円が計上される見込みですが、本取引後もカワサキモータースは引き続き当社の連結子会社であるため、連結損益への影響は軽微なものになると見込んでおります。

以上

添付資料：パワースポーツ&エンジン事業（カワサキモータース）の成長戦略

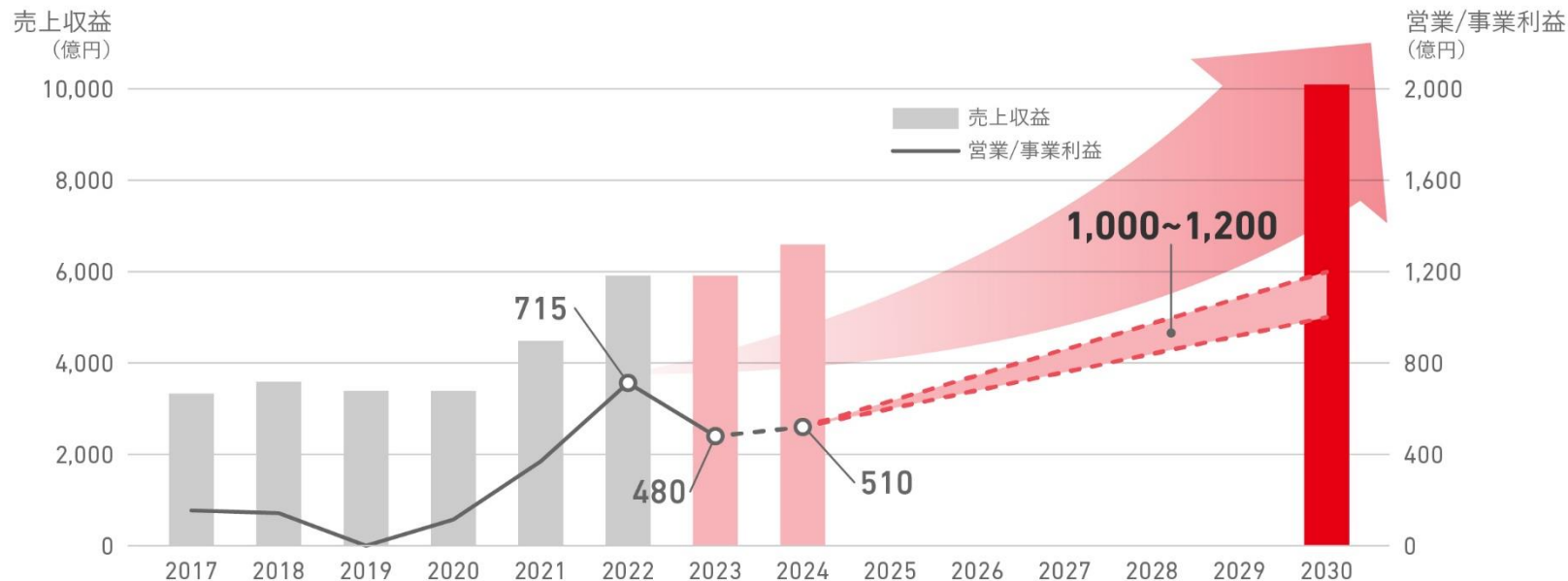
パワースポーツ & エンジン事業(カワサキモータース)の 成長戦略

— 伊藤忠商事からの出資受入及び業務提携について —

2024.11.8

パワースポーツ&エンジン事業（カワサキモーターズ）

- 2030年ビジョン事業利益1000億円に向け、成長戦略を継続
- 量産系事業のひとつとして、引き続き川崎重工グループ全体の収益を支える柱として貢献



本件業務提携

目的

- 伊藤忠商事グループとのカワサキモーターズの協業により、「グループビジョン2030」にて、2030年に事業利益1000億円を経営目標に掲げるカワサキモーターズの成長戦略を更に加速させる

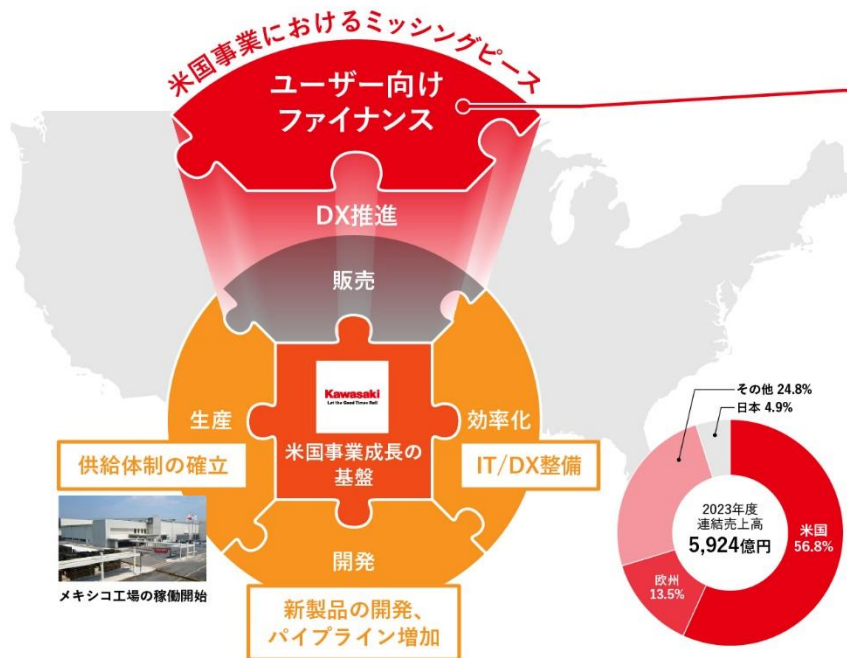
協業内容

1. ファイナンスにおける協業
 - ・ 伊藤忠商事グループと、ユーザー向けファイナンス事業会社を合併で設立
2. グローバルでの販売協業
 - ・ 協業により、開拓余地のある市場において市場開拓を進め、更なる需要の取り込みを行います
3. 人的交流・経営基盤の強化
 - ・ 社外取締役の派遣および従業員の出向等により、経営リソースの拡充を図ります
4. 物流における協業他
 - ・ 物流等にかかる伊藤忠商事の機能を活用することにより、事業運営の強化、効率化を進めます

カワサキモーターズでの米国ユーザー向けファイナンスについて

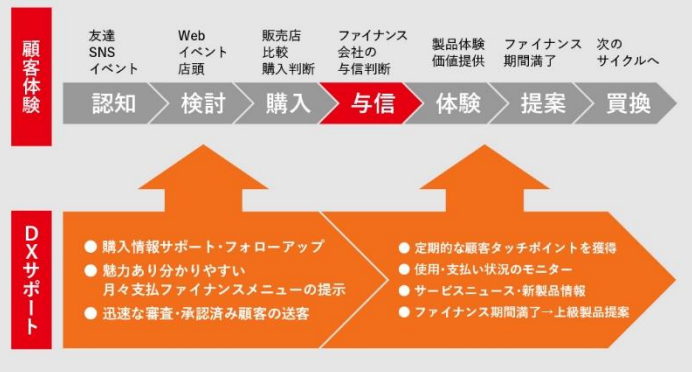
— サステナブルな成長を達成するためのミッシングピース —

ユーザー向けファイナンス合併会社設立と共にDXを徹底的に進めることで、
米国における競争優位性を確立し、米国事業成長の基盤とする



フルレンジでのサービス提供による顧客との関係強化

一貫したシームレスな購入体験を可能にし、
DXとの組み合わせで顧客の囲い込みを目指す

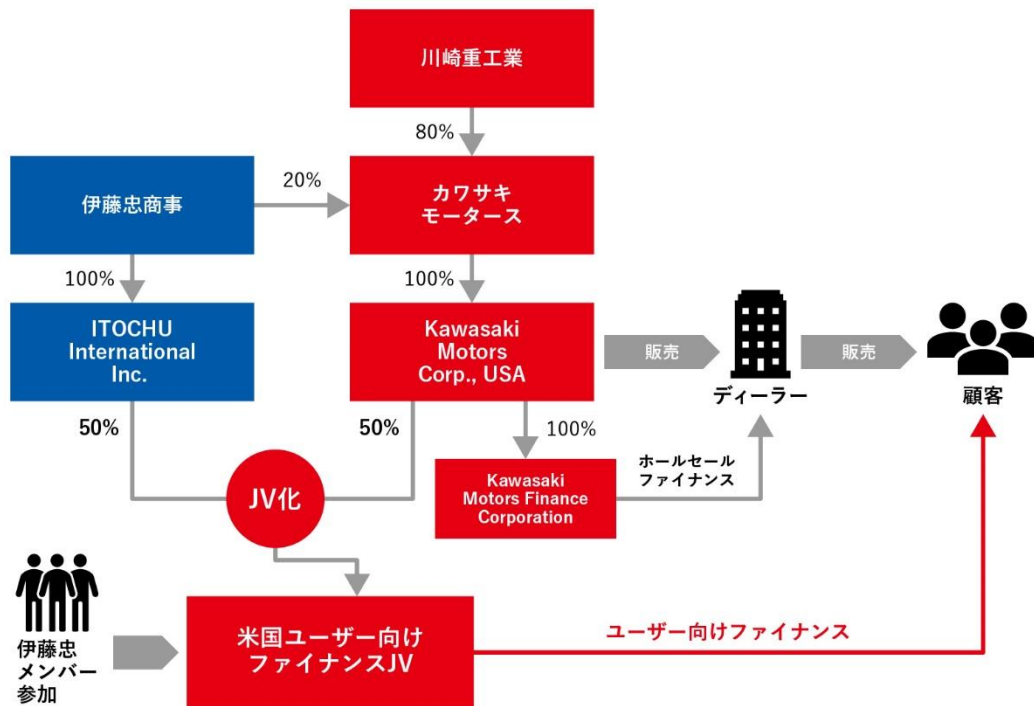


DX: Digital Transformation

伊藤忠商事グループとのユーザー向けファイナンス合併会社の設立

— ユーザー向けファイナンス事業を加速させるベストパートナー —

本件協業により、プロジェクトの早期かつ効果的な立ち上げを実行。



伊藤忠の米国ファイナンスの事業例



商用車ファイナンス事業
2007年～

建設機械ファイナンス事業
2023年～



カワサキファイナンス事業(新規)

伊藤忠商事グループとの協業

— グローバルで協業を具体化 —

グローバルで成長戦略を実現

ファイナンス + DXの仕組み構築

市場開拓

物流効率化

協業プロジェクト第一弾 

ユーザー向け
ファイナンス合併会社設立

 ファイナンス + DXの検討エリア

 市場開拓のための販売協力検討エリア

Kawasaki
Let the Good Times Roll



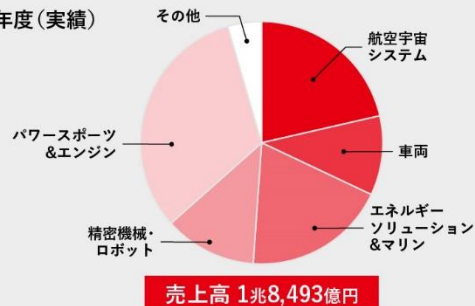
ITOCHU
ITOCHU

本件における譲渡金額の資金使途

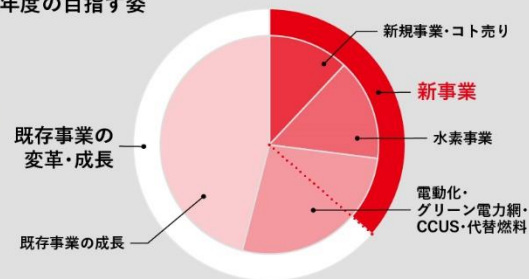
— グループビジョン2030に向けた投資に充当 —

事業ポートフォリオ改革

2023年度(実績)



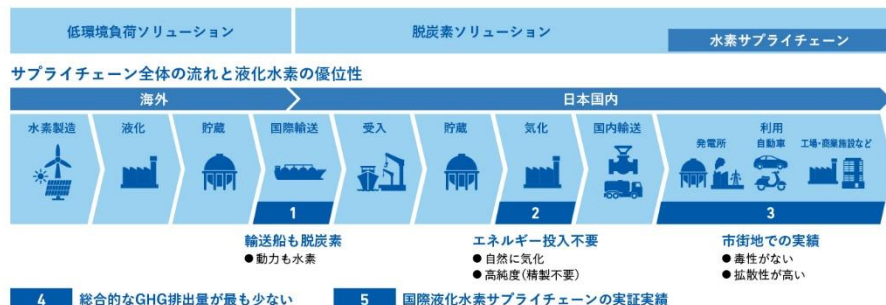
2030年度の目指す姿



グループビジョン2030
に向けた投資に充当

注力フィールド

エネルギー・環境ソリューション



近未来モビリティ

- 鉄道車両
- 船舶
- 航空機
- モーターサイクル
- オフロード四輪車

- 無人VTOL機
- 配送ロボット
- スマートシティを支えるモビリティ
- 物流ソリューション

安全安心リモート社会

- 産業用ロボット
- 防災製品
(非常用ガスタービン、ドクター／
防災ヘリ、オフロード二輪車／四輪車)
- ロボットシステム「Successor」／
ヒューマノイドロボットの開発・知能化

- 手術支援ロボット
「hinotori™サージカルロボットシステム」
- ヘルスケア事業
- 「働く意欲のある人と、労働力を求める
事業者」をつなぐプラットフォームビジネス

New Values



安全安心リモート社会

つぎの社会へ、 信頼のこたえを

Trustworthy Solutions
for the Future



近未来モビリティ



エネルギー・環境ソリューション



Cross Over

Frontier

